

「超かんたん！生ごみコンポスト2023～落ち葉堆肥で地域循環も楽しめる！～」アンケート結果まとめ

募集期間 令和5年6月～11月

実施期間 令和5年8月～12月

実施場所 各家庭

内 容 ・各家庭で発生する生ごみ（主に野菜くず）を基材（園芸土、腐葉土など）に埋め、堆肥化を体験、実感してもらい、生ごみコンポストへの心理的ハードルを下げる。

・継続のフォローとして、週1回の「コンポスト情報メール」を発信。（13回）

・3回のアンケート（申込時・中間時・終了時）に回答いただき、開始時と終了時の気持ちの変化を見る。（取組のハードルが下がったか、続けられそうか）

* 希望者には、京都市内の落ち葉でつくった完熟堆肥を配布し、基材の一部として活用してもらう。

アンケート設問 後添

【結果】

●参加者数 11

●アンケート回収数	第1回申込時	11（＝申込者数）
	第2回中間	9
	第3回終了時	9

●減量した生ごみ量 119 Kg（9家族 取組期間 平均3.9カ月）

【成果と課題】

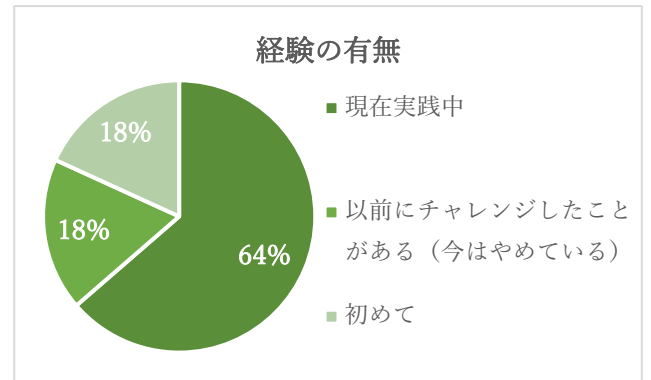
- 参加者が思うように伸びなかったが、終了アンケートからはコンポストのメリットを実感いただけた。
- ごみ減量だけでなく、生物多様性への理解なども深まり、環境教育の面でも有効である。
- 途中で中断してしまった方、虫や気温低下で継続の難しさを感じた方もいたが、前向きな声も多かった。
- 今回は経験者の参加が多かったが、昨年同様、気温の低い季節のつづけにくさが、引き続き課題である。
- 世の中の流れもあるのか、コンポストの関心度は高く、専門的な知識を求める声もあった。今後ライフスタイルとして定着していくことに期待したい。
- コンポスト情報メールについて、「おかげで続けることができた」「楽しみでした」など、プラスの意見が多かった。

1 項目別アンケート回答の結果

(1) 開始時アンケート (回答数 11)

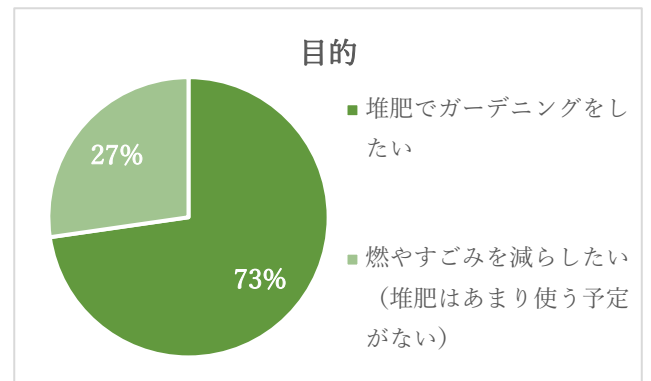
① たい肥化経験について

参加者の約 8 割が経験者。現在実践中、以前にチャレンジしたことがある参加者が目立った。初心者は 2 名の参加。



② 参加の目的

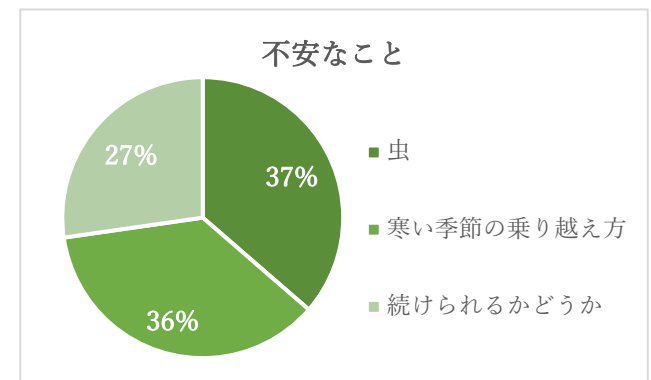
「ガーデニングに活かしたい」という期待が大きく半数強を占めた。次に、「燃やすごみを減らしたい」が続いた。



③ 不安に思っていること

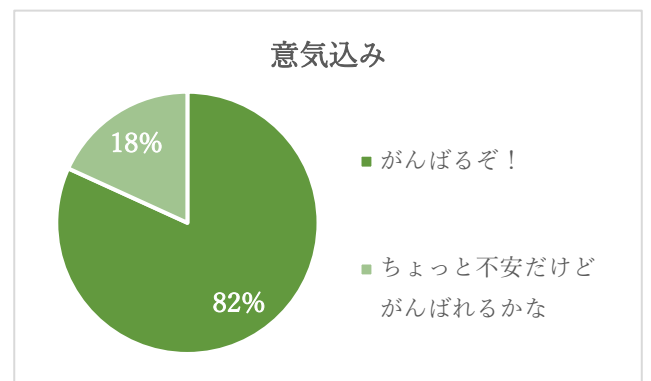
今年は経験者の参加が多かったためか、「臭いの発生」への不安がなく、「虫の発生」と「気温低下」への不安が半数強を占めた。

「続けられるかどうか」への不安は、以前に中断してしまった経験者の回答が目立った。



④ 参加の意気込み

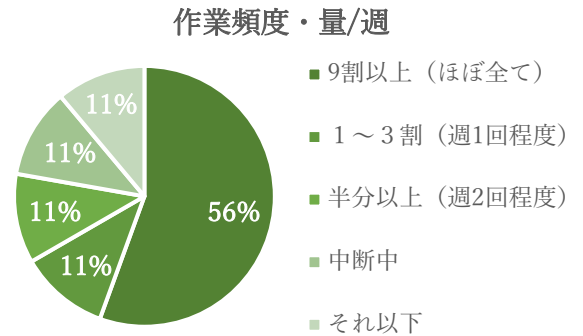
開始からがんばるぞ！という意気込みが感じられた。



(2) 中間時アンケート (回答数 9)

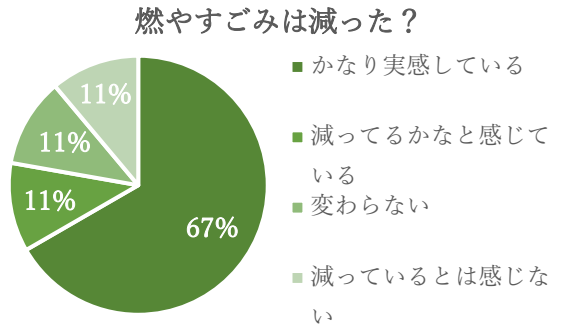
⑤ 1週間で何割(何回)埋めているか

1名中断中だが、ほか8名は継続。
約8割が、週1回以上埋めており、
「9割以上/毎日」が半数以上を占めた。



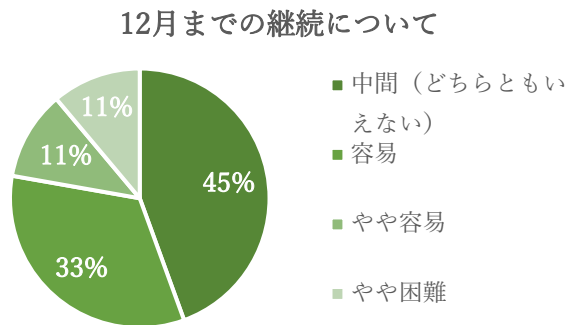
⑥ 燃やすごみが減っていると感じているか

6割強がかなり減ったと感じている。
約2割は変わらない・減っているとは感じないと回答。



⑦ 期間終了まで続けることについて

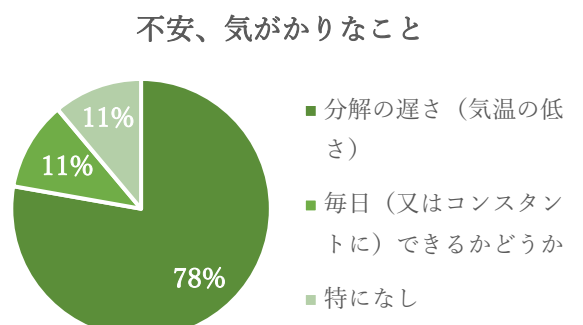
「中間」という回答が最も多く、「容易」、
「やや容易」で約4割、「やや困難」は1名。



⑧ 不安や気がかりなこと

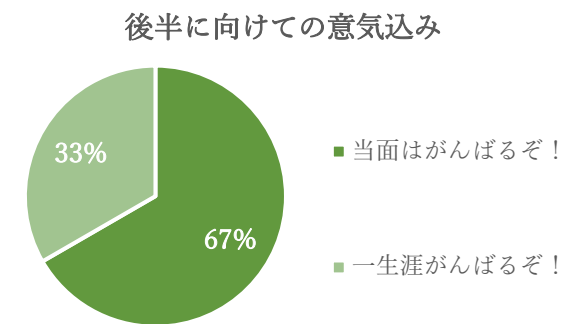
昨年同様「気温低下」への不安が7割を超えた。
経験者であっても、分解速度が鈍くなる季節の乗り越え方がコンポストのハードルとなっていた。

開始時は、「虫」への不安が目立っていたものの、
中間回答ではゼロに。初めての参加者からは、家族からの理解を得ることにハードルの高さを感じる声もあった。



⑨ 後半への意気込み

「この取組を最後まで継続できそう」(6割強)、「一生涯がんばるぞ!」(3割弱)で、終了を選んだ人はゼロ。
事業への参加をきっかけに、ライフスタイルとして定着していく可能性を強く感じる。



○参加者からの報告（中間時点） * 抜粋

困ったこと

- ・最近入れた何かの種が発芽して双葉が出て、かき混ぜてしばらく経つとまた同じように出てきてしまいます。黒のフェルトバッグに入れていて、日光は遮断されているとは思のですが。
- ・気温が下がってきたからなのか、種が分解されにくくなっているのかな、と思っています。
- ・ボカシコンポストを使っていますが寒さで分解が遅く、仕事の繁忙期も重なり土に埋める作業もできず容器がいっぱいになってしまったので中断しています。
- ・土の容量が少ないのと気温の低下で、生ゴミを投入しても分解が遅くて大半の生ゴミはゴミになっています。
- ・生ゴミが消えるのは楽しみです、家族の理解や虫対策など、それまでの障壁が高いかな？
- ・夏は庭に蚊が多くて埋めて混ぜるのが困難だった。
- ・前回投入したバナナの皮が分解せずに残るようになって、残念なことです。時間はかかるけど最終的には分解するから、夏同様投入していけばいいのかな。

良かったこと

【ごみ減量になった】

- ・夏場スイカの皮を埋めて分解していたのには感動を覚えました。毎年かさばっていたので。
- ・たまに腐らせてしまったもの、傷んでしまったものを捨てなくてもコンポストに入れればいいので、罪悪感が減ります。またゴミ袋がワンサイズ小さくなること、家庭菜園の肥料になることも嬉しいです。
- ・中断してしまって残念さもありますが、ごみの量の差を改めて実感しています。
- ・この 30 年ぐらいの間、燃えるゴミに出すゴミの量が非常に少なくなっている。

【その他】

- ・埋めたカボチャの種から芽が出てカボチャができた 笑
- ・ピーマンなど細かい種から発芽していたり、さつまいもの切れ端からも発芽していたり感嘆しきりです。
- ・分解速度を上げる為、色々試しています。ベストはまだ見つかりません。教えて頂きたい。
- ・子どもたちが自分で食べた野菜や果物の皮がどうなるのか、興味を持つようになったのも嬉しいところです！
- ・今年は虫の発生もなく、ノンストレスです。冬のお花を鉢植えする際、夏に熟成させていた堆肥を混ぜ込みます。冬の熟成は時間がかかるので、今頃にとりわけた堆肥を 3 月頃に使えたら、と堆肥活用のサイクルを考えながら楽しく続けています。
- ・気温低下の対応として、ぬかを足すのも有効ですか。
- ・庭の土が、よくいわれる団塊状の栄養豊富な黒々とした土になっている。掘るとミミズもよく出てくる。土質、特に酸性度と、窒素リン酸カリのバランスを測るにはどうしたらいいか考えているところです。うちの庭では化学薬品を使わないことで、土壌中の非常にマイクロな世界での多様性が豊かになっているのではと思います。

(3) 終了時アンケート (回答数 9)

⑩ 埋めた期間

経験者の参加が多く、約 9 割は 3 カ月以上取組を継続できた。中断してしまった参加者は 1 名のみ。
(中断の理由は気温低下と個人的理由が重なったこと)

⑪ 埋めた重量

119Kg

* 一人あたり一日 80g 排出として、家族人数と取組日数などで算出してもらった申請重量。

⑫ 虫が気になったか

全く気にならない、あまり気にならないの回答が 7 割強。
中間時点で虫への不安はゼロになっていたものの、虫を無視できない方は一定数おられる。

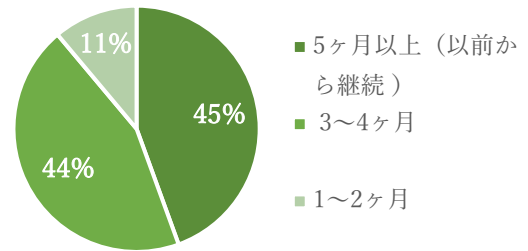
⑬ 虫を受け入れる気持ちになれたか

約 8 割の方は、受け入れる気持ちがある。
コンポストに取り組むことで、虫への抵抗感は少なくなる。
また、生物多様性について、実感として持っていただけるとうれしい。

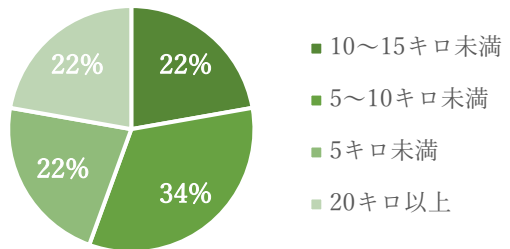
⑭ 臭いは気になったか

開始時、中間時点は、臭いへの気持ちはゼロ。
最終では少し気になった人が 2 割弱いた。
臭いはコンポストのハードルではないようだ。

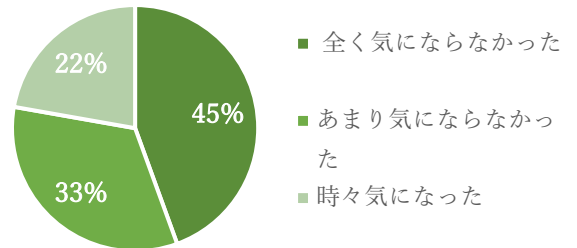
今回の取組期間



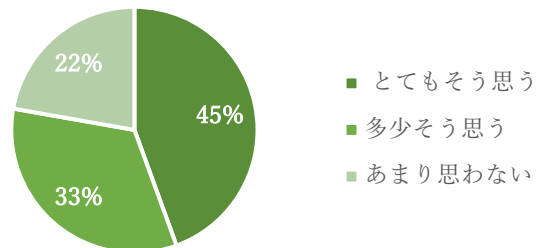
埋めた生ごみ重量 (期間中)



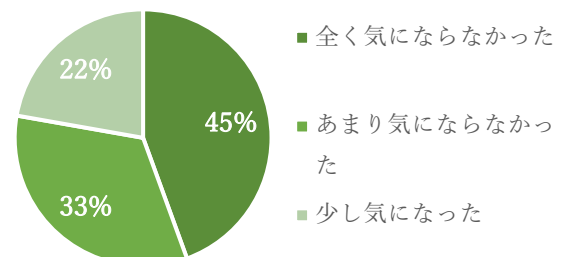
虫について



虫と仲良くなれたと思いますか？

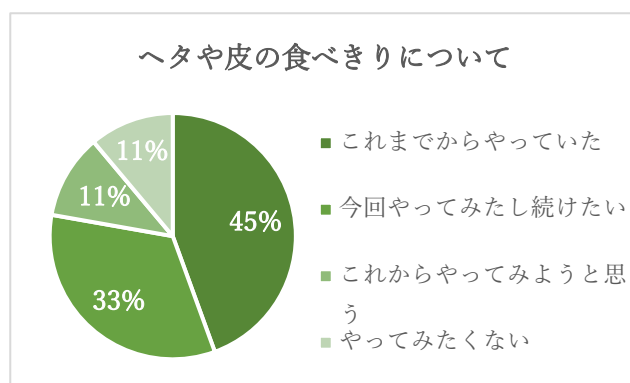


臭いについて



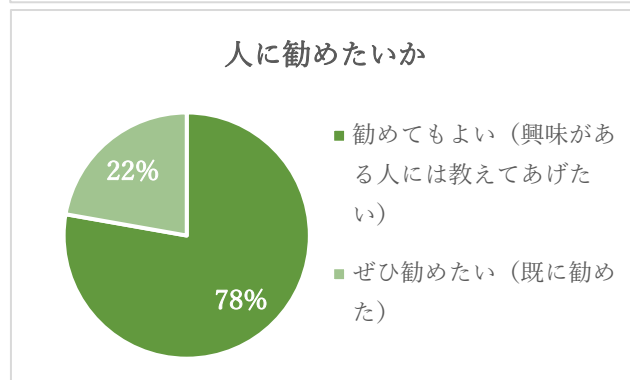
⑮ 皮や種まで食べることについて

これまでからやっていた、今回やってみたく続けた、の回答が7割強。やってみたくないの回答が1名。コンポストを続けるためには、そもそも出す量を減らすことが大切であることを、意識しつつ、コンポストしてもらえると嬉しい。



⑯ コンポストを他の人に勧めること

参加者全員が、ぜひ勧めたい・勧めてもよいと回答。コンポストに取り組むメリットを感じていただけた。



終了時アンケートでの感想（選択又は自由記述）

メリット

- ・ごみの嵩が圧倒的に小さい(ご近所さんを見渡して、ダントツで少ない！)ガーデニングに活用でき、とても嬉しい
まだカボチャの種を食べることにはチャレンジ出来ておらず、まだまだ減量の余地はあります…
- ・ピーマンは種が栄養豊富と知り、種取らずに調理するようにしています。お茶の出がらしは汁物に入れて食べてしまいます。
- ・ごみが減った。食べ物に感謝するようになった。循環や土の力を感じた。
生ゴミで土に混ぜたカボチャの種からカボチャの苗ができて実がなった。
- ・食べ物に感謝するようになった。ガーデニングに活用できた。環境や土の力を感じた。
- ・ごみの嵩が減って、ごみ出しの回数が減った。
- ・生ごみコンポストをする前は週に、20リットルの袋を2つ出すことが多かったです。それが今では10リットルを2つか、5リットル1つと10リットル1つで済むようになりました。減った分全てがコンポストに入っているわけではなくて、買う時、調理するときから無駄のないように考えるようになったからだと思います。5リットルで済んだ日は嬉しくなります。
- ・ごみの量が減った、夏場のゴミ箱をあけたときの生ごみ臭がなく良かった、畑の肥料を買わずに済んだ、庭の草むしりが楽しくなった、こどもたちが野菜くずをゴミではないと思うようになってくれた、コンポストについて調べるのが楽しかった
- ・微生物による有機物の分解を感じられた。
- ・格段に燃やすゴミは少なくなった。使わないまま傷んでしまった食材もたまにあったが土の材料になるという使い道で生かされ救われた。ガーデニングにとっても役立ち、人にあげることもできた。肥料を買わずに自前で循環することができるとのが嬉しかった。コンポストの観察が楽しかった。メールのやり取りでヒントをたくさんいただき、より有効な土づくりに役立ちありがたかった。土の酸性度は、窒素リン酸カリのバランスは、適した温度や水分量は、どれだけ土を混ぜるのが良いか、または近年言われている不耕起がこのコンポストにも当てはまるのか、興味は尽き

ず、調べたいと思う。専門の方に監修していただけたらありがたい。

ハードル（参加者からの課題）

- ・来年度に向けて、既に新しいダンボール(大きさ違いを二箱)を用意しているが、結局は底が抜けて変えざるを得なくなるまで移し替えをサボる私。継続するためには、年に一度はエイヤ！を乗り越えなければいけないので、能動的なきっかけがあると皆さんも続けやすいのでは、と思います。モノグサな意見ですみません。
- ・気温が低くなって分解が進まなくなる季節はお休みします。
- ・庭に直接埋めている為、混ぜるとみみずが…良いとはわかっていでも虫類が苦手なので恐る恐る混ぜていた。
- ・難しいと感じたことはない 3 週間続ければ習慣になる。
- ・温度（冬は冬眠）
- ・冬はなかなか分解されないこと、夏はコバエなどが入らないように気をつけることです。
- ・冬場の分解が遅くなる時期は 5 人家族の生ごみを処理するのが追い付かなかった。
- ・基材の補充。分解の止まる冬場の対策。

感想

・改めて、生ごみの堆肥化量を計算すると、継続は力なりと感じます。固い冬瓜の皮は開放型ダンゴムシコンポストに入れましたが、2 週間程で皮がスコップで簡単に破れるほど柔らかくなり、寒さの中でも分解が進んでいることに感動します。

・自分だけでは無い、参加者で頑張ると励みになります。

・前から気になってはいたけどなかなか出来なくて、今回参加してみてハードルが下がって、フォローのメールのおかげで続いています。これからも続けて行きます。ありがとうございました。

・コンポストを始める前はどんどん投入してすぐにいっぱいになってしまうのではないかと考えていました。

実際にやってみると、ゴミ出しの量は目に見えて減っているのに、コンポストの中身は全然増えなくてびっくりしました。生き物の分解する力に驚きました。

・堆肥ができすぎても畑があるわけでもなく、プランターで野菜を育てる程度なのでどうしよう？と心配していましたが、心配無用でした。案ずるより産むが易し、でした。これからも続けていきたいと思います。どんどんコンポストをしたい人が増えたらいいと思いますが、やり方がわからない人がほとんどだと思いますので、これからもいろいろな方法で周知して下さることを祈っています。

・メールを読むのがとても楽しみでした。1 人でしているのではない気がして、お顔も知らないのに、まるで知り合いからの連絡かのように楽しかったです。いつか周りにも実際にコンポストをしている人ができた話ができるようになるくらい増えてくれたらと期待しています。ありがとうございました！

・今まで生ごみをそのまま畑のコンポストに入れていて、他の方法も気になっていたのですがなかなか調べられていませんでした。今回の取り組みがきっかけで、自分でも色々調べるきっかけになってよかったです。

また、コンポストを休んでいる間もメールで情報をいただけたのでやめずに継続していけそうです。

ありがとうございました！

・こんな楽しく役立つ取り組みを自治体がやってくれるのはありがたい。家庭ごみはもっともっと減らせるはず。それとゴミ減ではないが、水の節約(雨水タンクなど)や、落ち葉堆肥づくりも同様の取り組みをやってほしい。どんな家でもやり方の工夫で実施可能なのに、もっと啓発に取り組んでほしい。参加者のアイデアをもっと共有できたらいいと思う。役立つ情報の Web サイトの紹介など、とても良かったです。これで終わりなのが残念です。

【参考】

「落ち葉たい肥で超かんたん！生ごみコンポスト 2022」

- アンケート回収数 第1回申込時 13(=申込家族数)
第2回約2か月取組後 13
第3回終了時 12(=全3回回答者数)
- メール発信回数 16回
- 減量した生ごみ量 139.5Kg(9家族 平均3.8か月)

「落ち葉たい肥で超かんたん！生ごみコンポスト 2021」

- アンケート回収数 第1回申込時 76(=申込家族数)
第2回約2か月取組後 64
第3回終了時 46(=全3回回答者数)
- メール発信回数 19回
- 減量した生ごみ量 349.7Kg(76家族 平均3か月)

「落ち葉たい肥で超かんたん！生ごみコンポスト 2020年」

- アンケート回答 33(3回とも回答した数)
- 取組期間 5か月 12名, ~4か月 10名, 無記入 11名
- メール発信回数 16回
- 減量した量 487.2Kg(22家族 平均4か月)

(参考) アンケート設問

第1回(開始時) アンケート設問

■コンポストの方法(複数利用の方はメインのもの)

段ボール

空きプランター

キエーロ

LFCコンポスト

ダスクリンクるくる

自然にかエル

みみずコンポスト

竹パウダー、竹チップコンポスト

庭に埋める

方法を検討中

その他

■ 2つ以上の方法でされている方は、上記の方法以外の方法を教えてください（いくつでも）

段ボール

空きプランター

キエーロ

LFC コンポスト

ダスクリンくるくる

自然にかエル

みみずコンポスト

竹パウダー、竹チップコンポスト

庭に埋める

1つの方法のみで実践中

その他

■ 生ごみのたい肥化は初めてですか？

初めて

以前にチャレンジしたことがある（今はやめている）

現在実践中

■ 生ごみコンポストへの期待

たい肥でガーデニングをしたい

燃やすごみを減らしたい（たい肥はあまり使う予定がない）

とりあえずどんなものかやってみたい

特になし

■ 一番不安や気がかりなことは？

臭い

虫

続けられるかどうか

寒い季節の乗り越え方

■ 生ごみコンポストへの意気込みを教えてください

がんばるぞ！

ちょっと不安だけどがんばれるかな

かなり不安。できるかな？

特になし

■ 京都市ごみ減量推進会議からのメルマガ案内（情報やイベント等のお知らせ。週1回程度の不定期発行）

について

送信を希望する

送信を希望しない

既に登録済み

※生ごみコンポスト取組期間中の情報メールとは別のご案内です。

■お問合せ・ご質問など

第 2 回目（中間）アンケート設問

■ 1 週間で何回埋めていますか？（又は調理くずを何割埋めていますか？）

9 割以上（ほぼ全て）

半分以上（週 2 回程度）

1～3 割（週 1 回程度）

それ以下

中断中

■ 生ごみが減って、燃やすごみの量が減ったと実感していますか？

かなり実感している

減ってるかなと感じている

変わらない

減っているとは感じない

全く減っていると感じない

■ 12 月まで続けることについて、どのような状況ですか？

容易

やや容易

中間（どちらともいえない）

やや困難

困難

■ 続けていく上で、不安や気がかりなことは？

臭い

虫

毎日（又はコンスタントに）できるかどうか

分解の遅さ（気温の低さ）

特になし

■ 後半に向けての意気込み

一生涯がんばるぞ！

当面はがんばるぞ！

これが終わったら一旦終了かな

今すぐにでも止めたい

中断中

■これが困った！（止めようかな〜）と思ったこと（自由記述）

■これが良かった！（続けたい！他の人にも勧めたい！）と思ったこと（自由記述）

第3回目（終了時）アンケート設問

■コンポストした期間（8月～12月の間の今回の参加の中で）

1回だけ～1週間未満

1週間～1ヶ月未満

1～2ヶ月

3～4ヶ月

5ヶ月以上（以前から継続）

■期間中に減らした燃やすごみの重量を教えてください（1人1日あたりの調理くず80gとして計算してください）。

例）毎日なら $80\text{g} \times \text{取組日数} \times \text{同居人数} = \text{減らした生ごみ量}$ 。

⇒ $80\text{g} \times 150 \text{日} (5 \text{カ月}) = 12\text{Kg}$

3人家族なら $12\text{kg} \times 3 = 36\text{Kg}$

・週半分なら $40\text{g} \times \text{取組日数} \times \text{家族数}$ 。

・週1回程度なら $12\text{g} \times \text{日数} \times \text{家族数}$ 。

■虫の発生が気になりましたか？

毎日（毎回）気になった

時々気になった

どちらでもない

あまり気にならなかった

全く気にならなかった

■始める前より、虫と仲良くなれた（虫が居てもまあいいか）と感じますか？

とてもそう思う

多少そう思う

どちらでもない

あまり思わない

全く思わない

■臭いは気になりましたか

とても気になった

少し気になった

わからない

あまり気にならなかった

全く気にならなかった

■生ごみの量を減らすために、これまで食べていなかった皮やへたや種などをできるだけ食べるようなチャレンジをしてみましたか？

これまでからやっていた

今回やってみたし続けたい

やってみたがやっぱり無理

これからやってみようと思う

やっていないし興味がわからない

やってみたくない

■生ごみコンポストをしてみて、メリットと感ずることを記入してください。下から選んでいただいても結構です（いくつでも）

- ・ごみの嵩が減って、ごみ出しの回数が減った（週2回から週1回など）。
- ・ごみが減って（購入する）ごみ袋のサイズが小さくなった。
- ・これまで食べていなかった部分（皮、へたの近く、種など）も食べるようになった。
- ・経済的なメリットを感じた。
- ・食べ物に感謝するようになった。
- ・ごみが軽くなって、ごみ出しが楽になった。
- ・ガーデニングに活用できた。
- ・循環や土の力を感じた。

■生ごみコンポストをしてみて、ここは難しい（課題である）、続けることが難しいと感じた点を教えてください

■生ごみコンポストを他の人に勧めたいと思いますか？

勧められない（勧めたくない）

勧めたいとは思わない（勧めるほどでもない）

わからない

勧めてもよい（興味がある人には教えてあげたい）

ぜひ勧めたい（既に勧めた）

■今回の取組について、感想をお聞かせください（自由記述）

以上